特集「SDGsとは？　企業、社会活動に生かせるSDGs」を企画して

特集担当編集委員　大矢 仁史、井上 義之、加納 純也

SDGs は世界中の人々がひとつしかない地球上で安定して暮らし続けられるように持続可能な世界を実現するための進むべき道標を示したものと言われている。したがって環境だけではなく、経済や社会も取り込んだ概念であり、これからの企業活動、社会活動に避けては通れない考え方である。粉体企業でも、食料生産などにおける資材やエネルギーの削減、飢餓をなくそうなど、省資源・省エネルギー分野などで取り組まれることも多くなり、最近は ESG 投資を行う企業も増えてきている。

そこで本特集では、SDGs とは何か、また、企業で取り組むメリットを解説するような特集号を企画した。合わせて粉体関係の企業での事例紹介を含め、自治体や大学での社会活動に SDGs を取り込んだ事例についてご寄稿をいただいた。

㈲オフィス西田の**西田純氏**には、「SDGs とは何か？　SDGs ビジネスの勧め」と題し、SDGs の概説とともにどのように社会に浸透していったかについて歴史的な事象を交え説明していただき、企業活動への取り組み方法について解説いただいた。また、SDGs を取り入れた具体的な企業活動についても紹介いただいた。

SDG パートナーズ㈲の**田瀬和夫氏**と**北海道大学スタートアップ創出本部**の**松原友姫氏**には、「企業活動における SDGs の意義」と題し、SDGs は経済、社会、環境の諸課題を含んだ考え方であり、今までの二元論ではない「持続的な共存」という人類の生存戦略であるという説明をいただき、企業に取り込むための考え方について解説いただいた。

ホソカワミクロンワグナー㈱の**木村尚司氏**には、「粉体塗装と SDGs」と題し、粉体分野での取り組みとして粉体塗装に関して、従来の溶剤型塗装と比較しながら主に環境の観点から詳しく解説いただいた。我が国での粉体塗装のシェアが少ないようであるが、今後の使用量増加を期待したい。

㈱日清製粉グループ本社の**城地泰仁氏**には、「社是・企業理念の実践を通じた SDGs の取り組み」と題し、食品分野の企業として、CSR のために必要な考え方や実際に実践されている取り組みを解説いただいた。また、環境や人権をなどにも配慮した企業活動にも紹介いただいた。

三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング㈱の**山時哲行氏**には、「サステナビリティ経営と ESG 投資」と題し、今までの投資パーフォーマンスを考慮するものと対局に位置する長期的なリスク低減と企業価値向上を目指した ESG 投資について解説をいただき、それを呼び込むためのサステイナビリティ経営を紹介いただいた。

北九州市企画調整局の**横山哲子氏**には、「日本一住みよいまちを目指して ― SDGs 未来都市・北九州市 ―」と題し、北九州市が官営八幡製鐵所創業から公害に悩まされ、それを克服してきた取り組みを解説いただき、現在の SDGs 活動に繋がっていった経緯を踏まえた、各種 SDGs 活動に関して紹介いただいた。

中部大学の**古澤礼太氏**には、「SDGs 時代の大学の社会貢献 ― ESD 地域ネットワークの取り組みを中心に ―」と題し、大学での1つの使命である社会貢献に関係した SDGs の取り組みとして地域の文化や生物多様性を生かしたものを紹介いただき、中部大学がその地域拠点として長年貢献していることを説明していただいた。

本特集号にご執筆いただいた北九州市では、商店街など町のあちこちに SDGs の取り組みを PR するポスターが張られている。最近では、SDGs の取り組みを生産活動の特徴として紹介する企業も見受けられるようになった。SDGs はその内容を知るだけではなく、いかに企業活動に取り入れるかを考える時代になったように思われる。

本特集号が粉体関連分野の技術者や営業、経営者に SDGs に興味を持ってもらうきっかけとなり、実際の取り組みにつながる一助となることを期待したい。環境も社会も企業活動も持続可能となることに貢献できれば幸いである。